

取扱説明書

DMT-DD

タッチパネル設定ツール

重要

- ・ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・本書で提供するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができます。
- ・本書は、アナログ抵抗膜方式のタッチパネルモニター専用です。

- ・モニターの接続については、お使いのモニターのセットアップマニュアルを参照してください。
- ・最新の取扱説明書およびソフトウェアは、当社のWebサイトからダウンロードできます。

www.eizo.co.jp



本書について

本書は、アナログ抵抗膜方式の当社タッチパネルモニターをWindows 11 / Windows 10で動作させるために必要な手順について説明しています。

DMT-DDについて

DMT-DD は、当社タッチパネルモニターをWindows 11 / Windows 10で動作させるためのソフトウェアです。

-
1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

DMT-DD はDMC Co, Ltd の登録商標です。

EIZO、EIZO ロゴはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

本書について	2	● Beep設定	29
DMT-DDについて	2	● 再生ファイル名	29
目次	3	3-7. 右クリック設定	30
第1章 はじめに	4	3-8. ハードウェア設定	31
1-1. 概要	4	3-9. ハードウェア情報	32
● 動作条件	4	3-10. 設定ファイル	33
1-2. 使用上の注意事項	4	● 設定ファイル	33
第2章 セットアップ	5	● 設定ファイルの追加、削除	33
2-1. セットアップの流れ	5	● デフォルト設定	34
2-2. DMT-DDのインストール	6	3-11. モニタ設定	35
2-3. タッチパネルドライバのインストール	9	3-12. タッチ設定	36
● タッチパネルドライバのインストール		3-13. マウス設定	37
(USB接続の場合)	10	3-14. 設定ツール	38
● タッチパネルドライバのインストール		● 常駐設定	38
(COMポート接続の場合)	10	第4章 こんなときは	39
2-4. タッチパネルの設定	13	第5章 参考情報	41
2-5. 設定ファイルの登録	15	5-1. タッチパネルドライバのアンインストール ...	41
2-6. タッチ位置の補正	16	● USB接続の場合	41
第3章 タッチパネル設定ツール	17	● COMポート接続の場合	41
3-1. タッチパネルデバイス一覧	18	5-2. DMT-DDのアンインストール	43
3-2. ソフトウェア設定	19		
● ソフトウェア設定	20		
● 調整	21		
3-3. タッチ入力設定	23		
● タッチ入力	23		
● タッチ形式	24		
● リフトオフディレイ	24		
● タッチ有効	24		
● 反転	25		
● X/Y軸交換	25		
3-4. 端面設定	26		
● 範囲と移動量	26		
3-5. フィルタ設定	27		
3-6. タッチ音	28		
● 再生方法	28		
● 鳴動タイミング	29		

第1章 はじめに

1-1. 概要

DMT-DDは、タッチパネルを動作させるために必要となる次の機能を提供しています。

- ・タッチパネルドライバのインストール/アンインストール
- ・タッチパネルドライバの設定

●動作条件

アナログ抵抗膜方式のEIZOタッチパネルモニターでDMT-DDを動作させるための条件は次のとおりです。

OS ^{※1}	・ Windows 11 ・ Windows 10（32ビット / 64ビット）
ソフトウェア	.Net Framework 4.6
ハードディスク	システムドライブに10MBほどの空き容量/データファイル保存容量
インターフェース	・ USB ・ RS-232C（COMポート接続）

※1 OS提供元のサポート終了にともない、当社のサポートも終了します。

注意点

- ・ Windows 11 / Windows 10のシステムビルダーバージョンは、使用できません。

参考

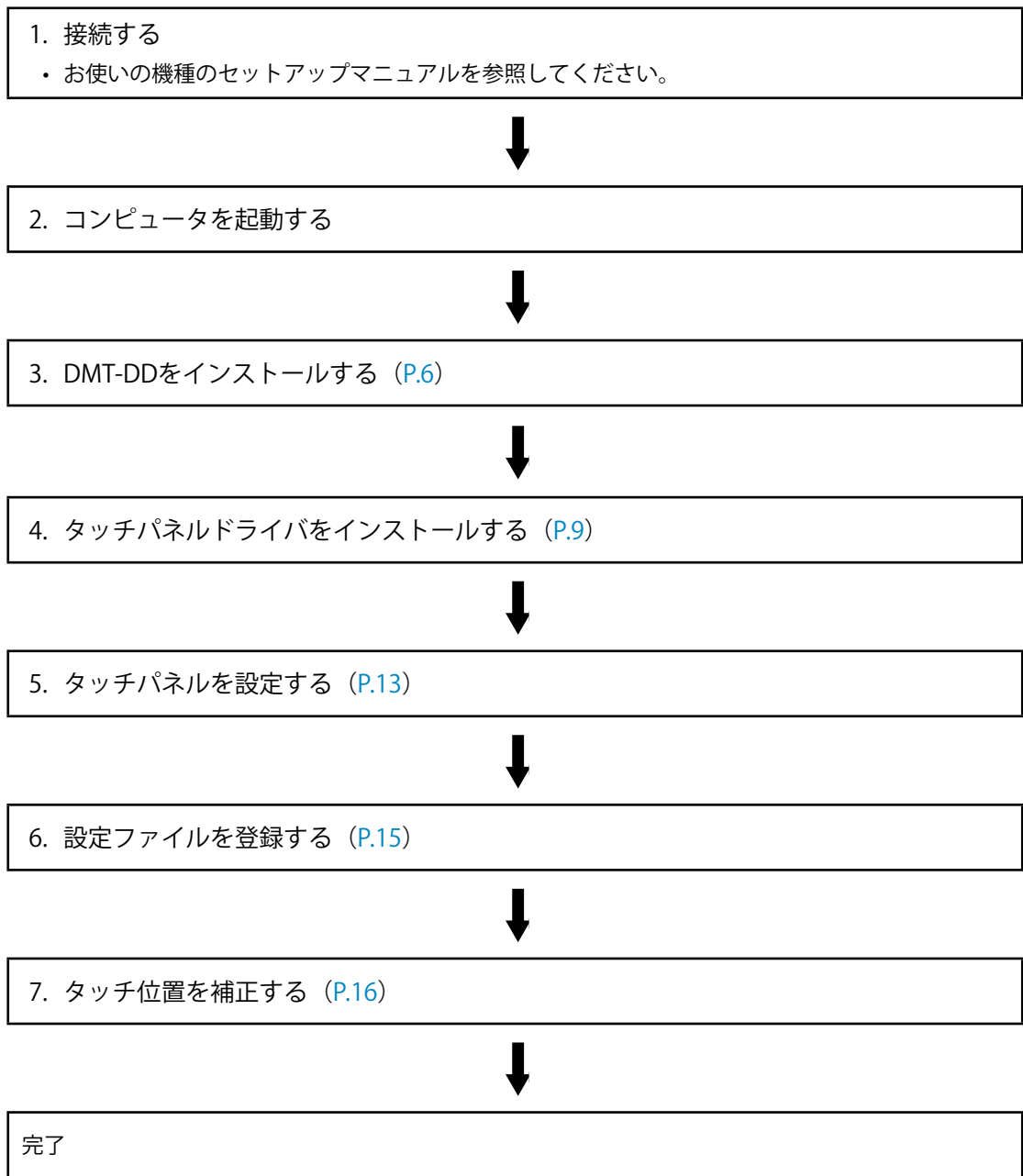
- ・ システムプロパティは「タッチ（制限あり）のサポート」と表示される場合がありますが、タッチパネルの動作に問題はありません。

1-2. 使用上の注意事項

- ・ 下記のような状態で本ソフトウェアを使用した場合、正常に動作しない場合があります。
 - 本書の説明とは異なった方法での使用
 - 指定の動作条件以外での使用
 - マウスエミュレーションソフトウェアや類似の機能を有するソフトウェアがインストールされた環境での使用
 - 旧バージョンの上書きインストール後の使用
- ・ 当社では、本ソフトウェアに起因するいかなるトラブルに関しても一切の責任を負いかねます。本ソフトウェアを導入する前に、必ずシステムのバックアップをお取りください。

第2章 セットアップ

2-1. セットアップの流れ



2-2. DMT-DDのインストール

注意点

- バージョンアップなどでDMT-DDを再インストールする場合、いったんDMT-DDをアンインストールしてください。その後コンピュータを再起動し、DMT-DDをインストールしてください。

1. 管理者権限を持つユーザーアカウントでコンピュータにログオンします。

ユーザーアカウントの権限については、システム管理者に問い合わせてください。

2. 光学ドライブに「EIZO LCDユーティリティディスク」を挿入します。

3. 「タッチパネル」タブを開き、「タッチパネルドライバ」-「インストール」をクリックします。

「DMT-DDセットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。

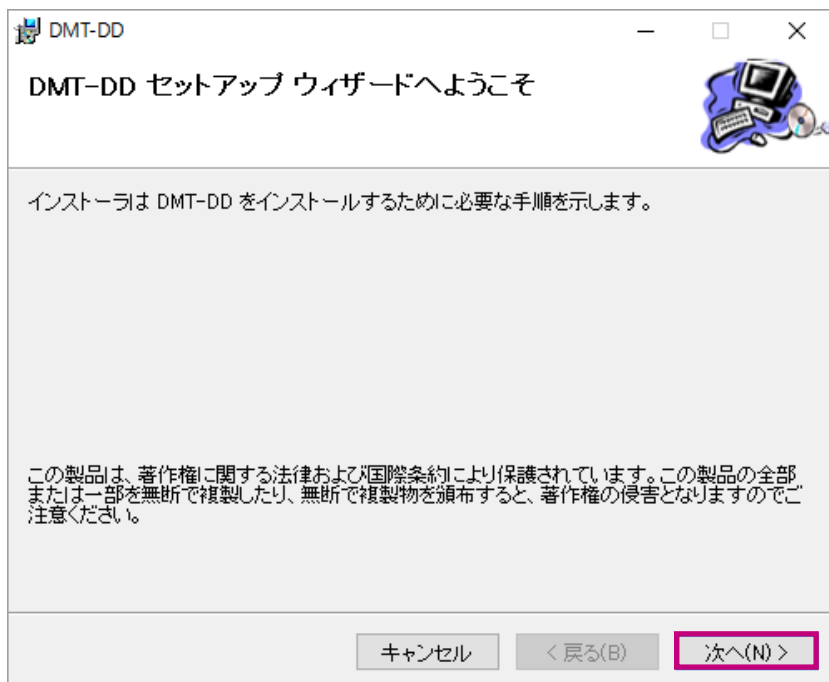
参考

- 当社のWebサイトからDMT-DDをダウンロードしてインストールする場合は、次の手順に従ってインストールします。
 - ダウンロードファイルを解凍します。
 - 「DMT-DDSetup_ms.msi」をダブルクリックします。

注意点

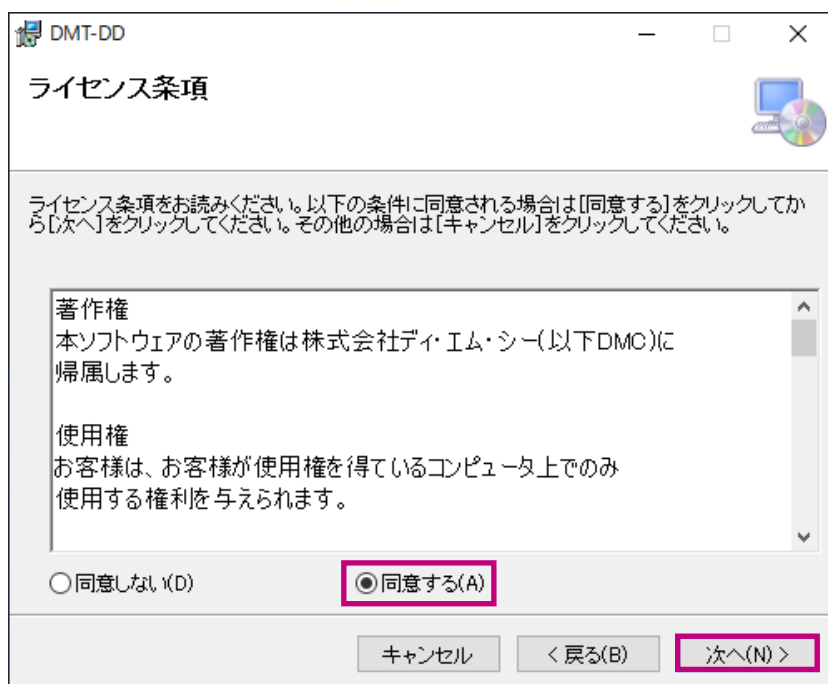
- 使用しているOS用とは異なるインストーラを実行すると、メッセージが表示されてインストールできません。専用のインストーラを実行してください。

4. 「次へ」をクリックします。



「ライセンス条項」画面が表示されます。

5. 内容を確認し、「同意する」を選択して「次へ」をクリックします。



インストールが開始されます。

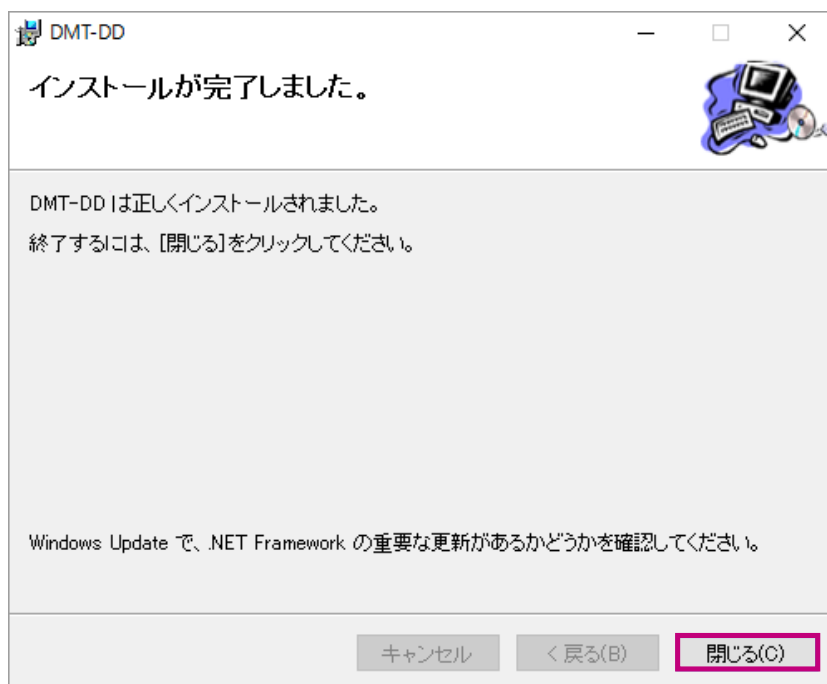
インストールが完了すると「インストールが完了しました。」というメッセージが表示されます。

参考

- インストールの途中で、次のような画面が何度か表示される場合があります。そのときは「インストール」をクリックしてください。



6. 「閉じる」をクリックします。



DMT-DDが正常にインストールされると、デスクトップにショートカットが作成されます。

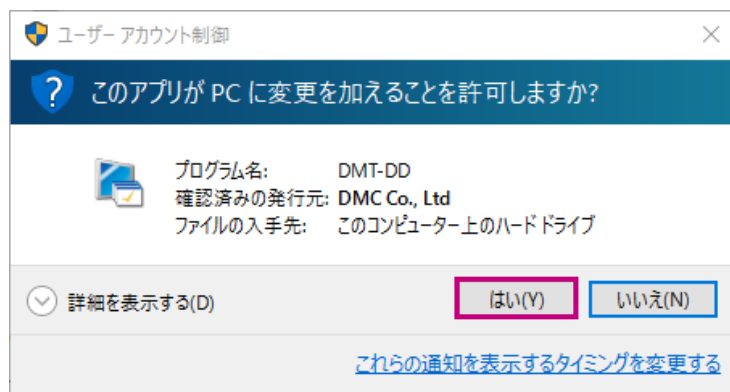


2-3. タッチパネルドライバのインストール

DMT-DD をインストールしただけではタッチパネルは動作しません。タッチパネルモニターごとにドライバをインストールする必要があります。タッチパネルの接続方法によってインストール手順が異なります。

注意点

- ユーザーアカウントにコンピュータの管理者権限が必要です。ユーザーアカウントの権限については、システム管理者へ問い合わせてください。
- ユーザーアカウント制御の設定によって、次のような画面が表示される場合があります。「はい」をクリックしてください。



参考

- コンピュータに接続するタッチパネルモニターを追加または変更した場合、追加または変更したタッチパネルモニターに対してドライバのインストールが必要になります。
- 接続するケーブルによって、タッチパネルドライバのインストール方法が異なります。
 - RS-232Cケーブルを使用する「COMポート接続」のインストール方法の詳細は、「[タッチパネルドライバのインストール \(COMポート接続の場合\)](#)」(P.10)を参照してください。
 - USBケーブルを使用する「USB接続」のインストール方法の詳細は、「[タッチパネルドライバのインストール \(USB接続の場合\)](#)」(P.10)を参照してください。
- 1台のタッチパネルモニターでCOMポート接続とUSB接続を同時に使用することはできません。

● タッチパネルドライバのインストール（USB接続の場合）

DMT-DD をインストール後に USB ケーブルを接続すると、自動的にタッチパネルドライバがインストールされます。DMT-DD をインストールする前に USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを一度外してから接続し直すか、「インストール」をクリックしてください。

注意点

- ・インストール完了後にコンピュータを再起動する必要があります。

● タッチパネルドライバのインストール（COMポート接続の場合）

1. 信号ケーブルが正しく接続されているか確認します。

2. DMT-DDを起動します。



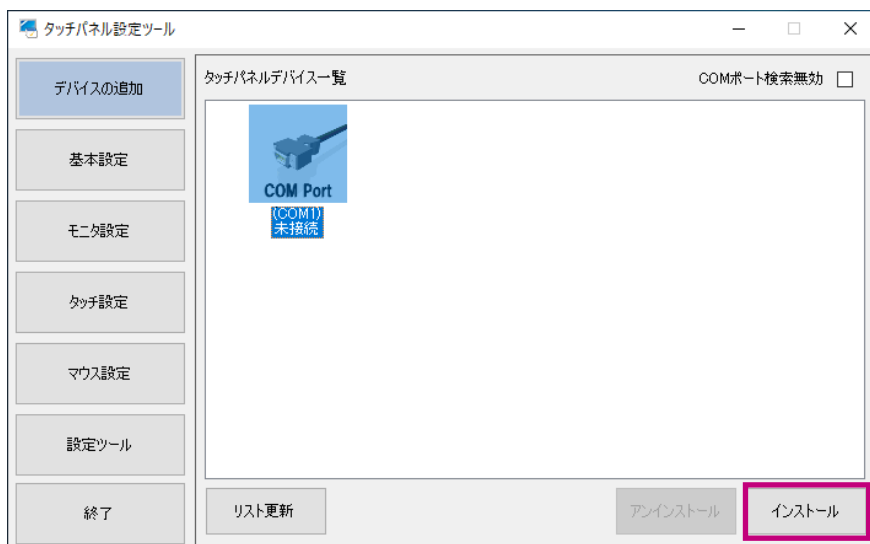
3. 「タッチパネルデバイス一覧」から、タッチパネルドライバをインストールするタッチパネルのアイコンを選択します。

参考

- ・タッチパネルドライバをインストールするモニターの画面をタッチすると、タッチしたモニターと接続しているアイコンが選択されます。

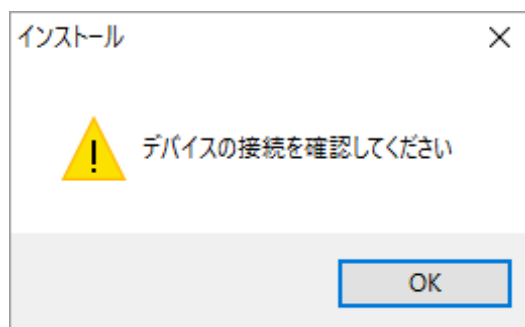


4. 「インストール」をクリックします。



注意点

- ・「インストール」をクリックするとメッセージが表示される場合があります。



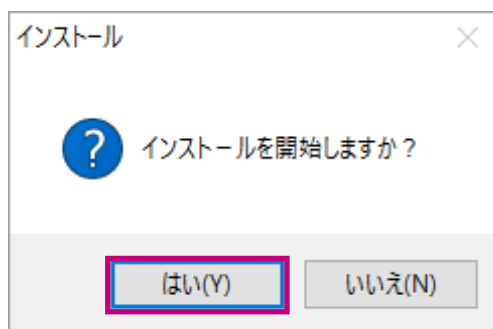
次の点を確認して再度「インストール」をクリックしてください。

- 「COMポート検索無効」のチェックがオンになっている場合はオフにしてください。
- RS-232Cケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

確認画面が表示されます。

5. 「はい」をクリックします。

インストールが開始されます。

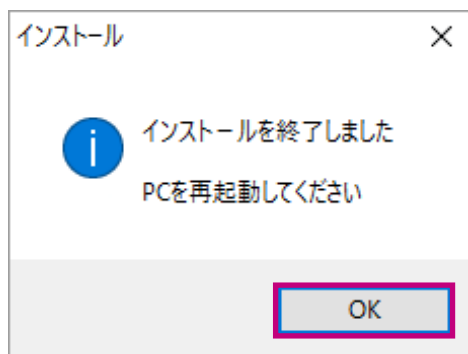


参考

- 初めてインストールする場合、次のような画面が何度か表示されます。「インストール」をクリックします。



インストールが完了するとメッセージが表示されます。



6. 「OK」をクリックします。

インストールが完了します。

インストールが正常に完了すると、「タッチパネルデバイス一覧」のアイコンがインストール後のアイコンに変わります。



7. コンピュータを再起動します。

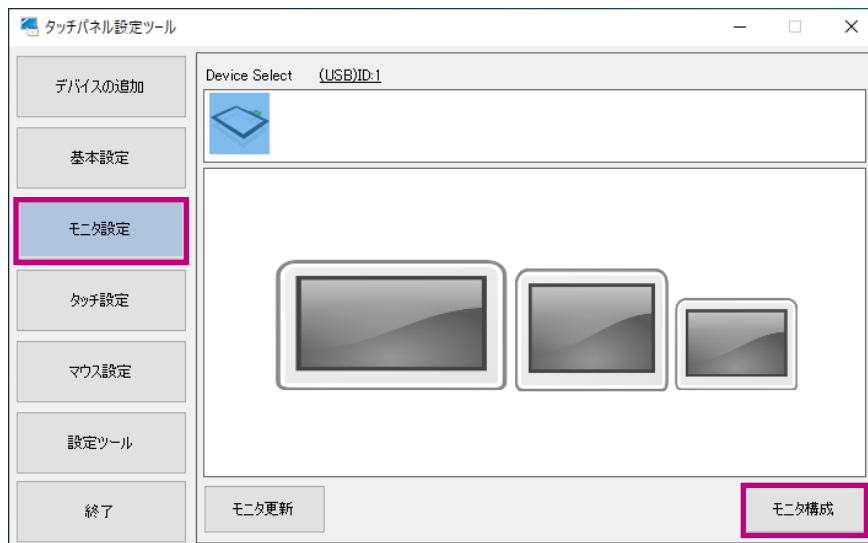
2-4. タッチパネルの設定

タッチパネルデバイス（USB 接続または COM ポート接続）と、モニター（DVI や D-Sub などの映像信号ケーブル接続）を関連付けます。

注意点

- ・モニターを交換したり、接続するCOMポートやUSBポートを変更すると、以下の手順を実行する必要があります。
- ・モニターの表示方法（拡張、複製表示、または画面のアスペクト比）を変更した場合は、以下の手順を実行する必要があります。

1. 「モニタ設定」の「モニタ構成」ボタンをクリックします。



最初のモニターに次の画面が表示されます。

このモニタのタッチパネルを 2 回連続してタッチしてください。

次のモニターを設定する場合は、Enter ボタンを押します。
キャンセルするには、ESC ボタンを押します。

このモニターで設定されたドライバが下記に表示されます。

画面が表示されているモニターがタッチパネルモニターではない場合、キーボードの「Enter」を押します。上の画面が次のモニターに移動します。画面が表示されているモニターがタッチパネルモニターになるまで続けます。

設定をキャンセルする場合は、キーボードの「Esc」を押します。

2. タッチパネルを2回タッチします。

タッチパネルデバイスとモニターが関連付けられ、タッチパネルモニター上の表示が次の画面に変わります。

このモニタのタッチパネルを2回連続してタッチしてください。

次のモニタを設定する場合は、Enter ボタンを押します。
キャンセルするには、ESC ボタンを押します。

このモニタで設定されたドライバが下記に表示されます。

(1)ROOT¥HIDCLASS¥0001

参考

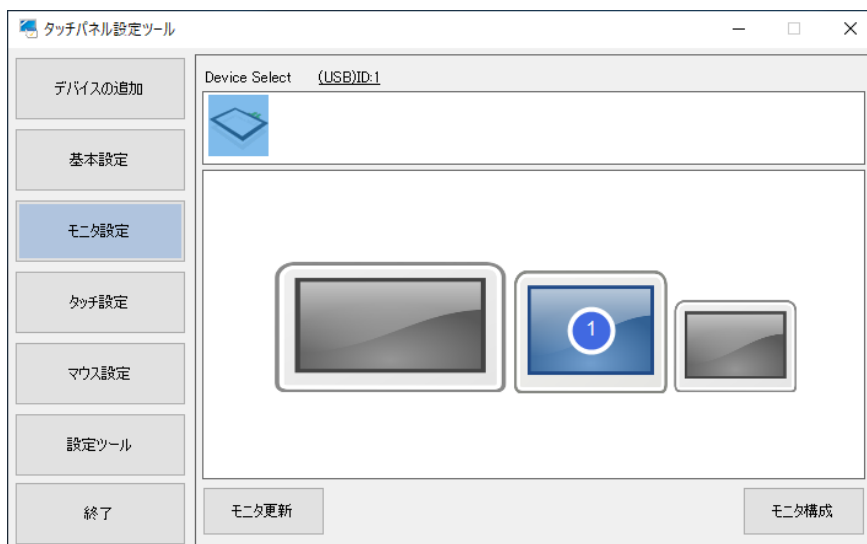
- ・表示内容は環境によって変わります。

3. 選択画面を閉じます。

キーボードの「Enter」を押します。

実行結果が表示されます。

関連付けされたモニターがアクティブになり、ドライバのIDが表示されます。



4. コンピュータを再起動します。

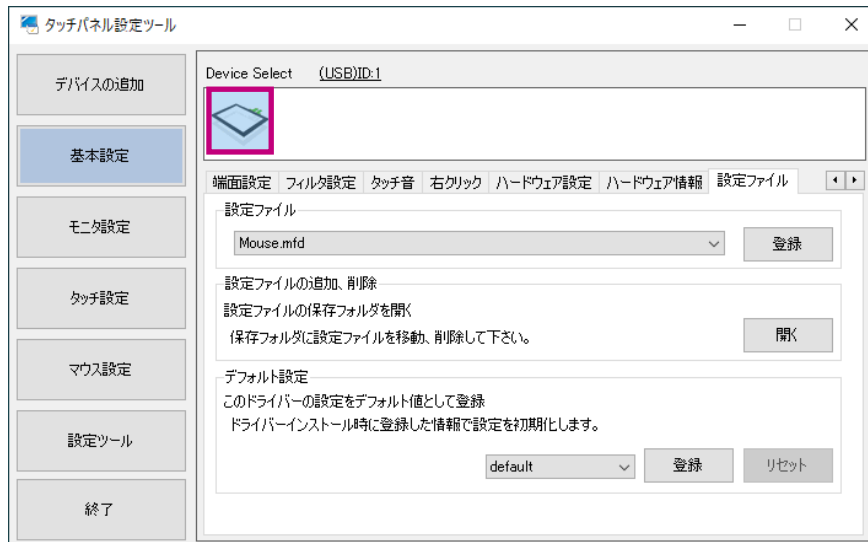
2-5. 設定ファイルの登録

設定ファイルを登録してタッチパネルの動作モードを設定します。

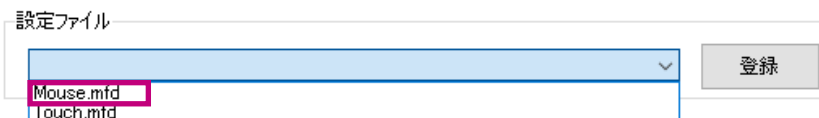
注意点

- タッチパネルモニターごとに登録が必要です。
- 初期設定では、「設定ファイル」は登録されていません。設定ファイルが未登録の場合は「Touch.mfd」ファイルが設定されます。

1. 「基本設定」の「Device Select」から、設定ファイルを登録するタッチパネルドライバを選択します。



2. 「設定ファイル」タブの「設定ファイル」プルダウンメニューから「Mouse.mfd」を選択します。



参考

- 「Touch.mfd」ファイルの詳細は「3-10. 設定ファイル」(P.33)を参照してください。

3. 「登録」をクリックします。

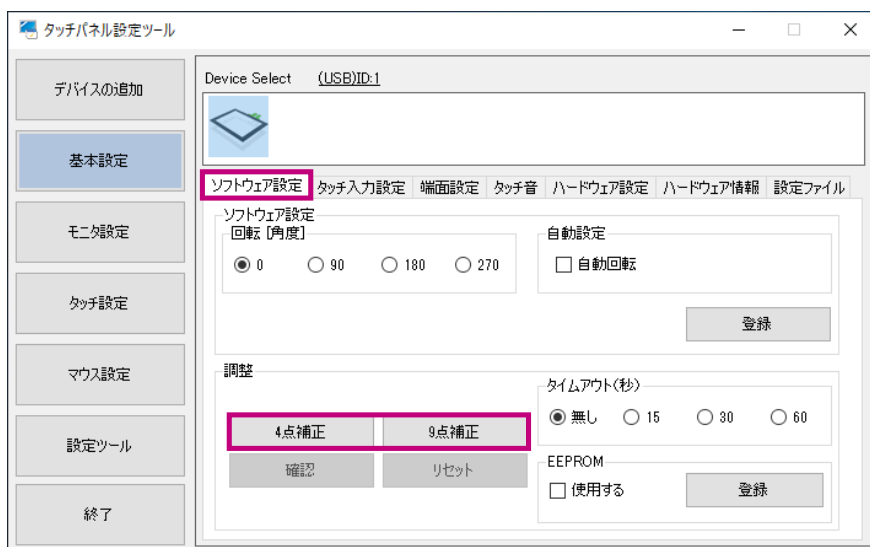


メッセージが表示され、設定が完了します。

2-6. タッチ位置の補正

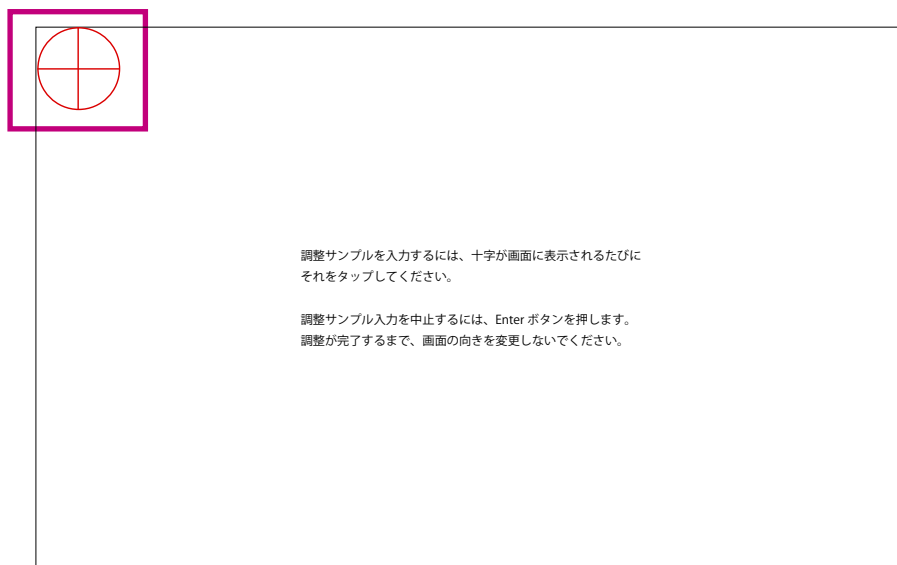
タッチした位置とタッチに反応して表示されるカーソルの位置を合わせるために補正します。

1. 「基本設定」の「Device Select」から、位置を補正するタッチパネルモニターを選択します。
2. 「ソフトウェア設定」タブの「4点補正」または「9点補正」をクリックします。



補正画面が表示されます。

3. 画面上に表示されているマーカーの中心をタッチします。



マーカーをタッチすると、次のマーカーが表示されます。続けてマーカーの中心をタッチします。すべてのマーカーをタッチすると補正が完了します。確認画面が表示されます。

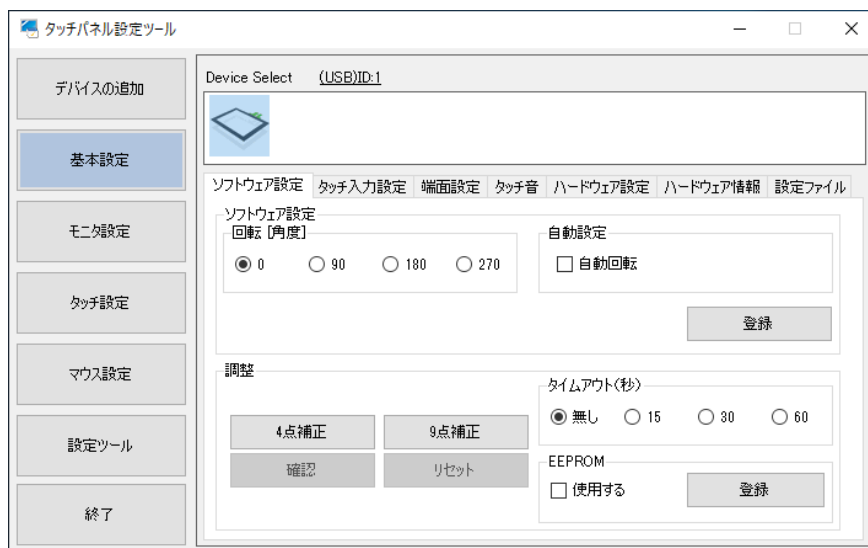
4. 「OK」をクリックします。

位置の補正が完了します。

第3章 タッチパネル設定ツール

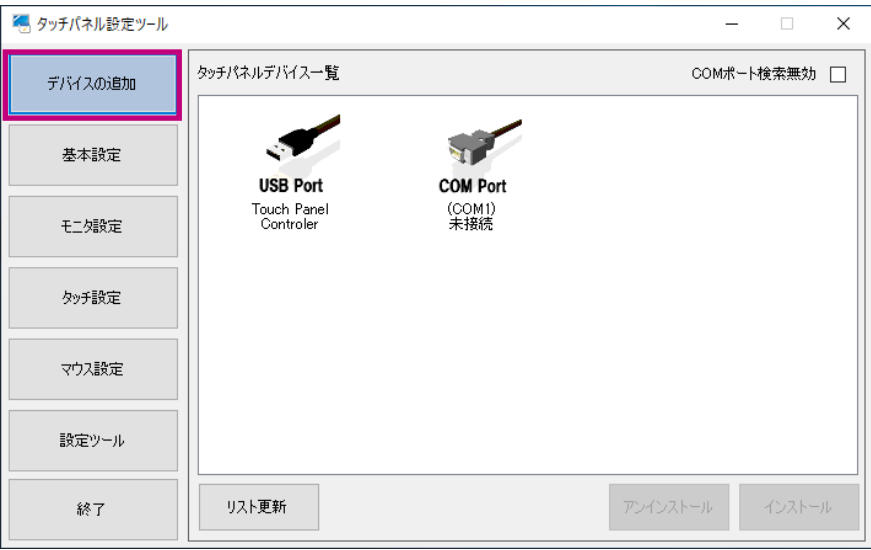
DMT-DDを起動すると「タッチパネル設定ツール」画面が表示されます。

「タッチパネル設定ツール」を使用すると、タッチパネルの動作設定や補正がおこなえます。








3-1. タッチパネルデバイス一覧

「デバイスの追加」をクリックすると「タッチパネルデバイス一覧」にUSB接続されているタッチパネルモニター、接続可能なCOMポート、またはインストールされているCOMポート接続のタッチパネルモニターがアイコンで表示されます。



参考

- USB接続のタッチパネルを接続したり切断すると、自動的に「タッチパネルデバイス一覧」が更新されます。
- 「リスト更新」をクリックすると、「タッチパネルデバイス一覧」が更新されます。
- 「COMポート検索無効」のチェックをオンにすると、COMポートに対してタッチパネルが検索されなくなります。初期設定のチェックはオフです。チェックをオフにすると、COMポート接続されているタッチパネルが自動的に検索されます。
- 「タッチパネルデバイス一覧」は、タッチパネルドライバのインストールまたはアンインストール中は自動更新されません。
- アイコンは次のように表示されます。

アイコン					
接続	未接続	COMポート	COMポート	USBポート※1	USBポート
タッチパネルドライバ	-	未インストール	インストール済	未インストール	インストール済
状態	-	-	○	-	○

○：タッチパネルモニターとして使用可能です

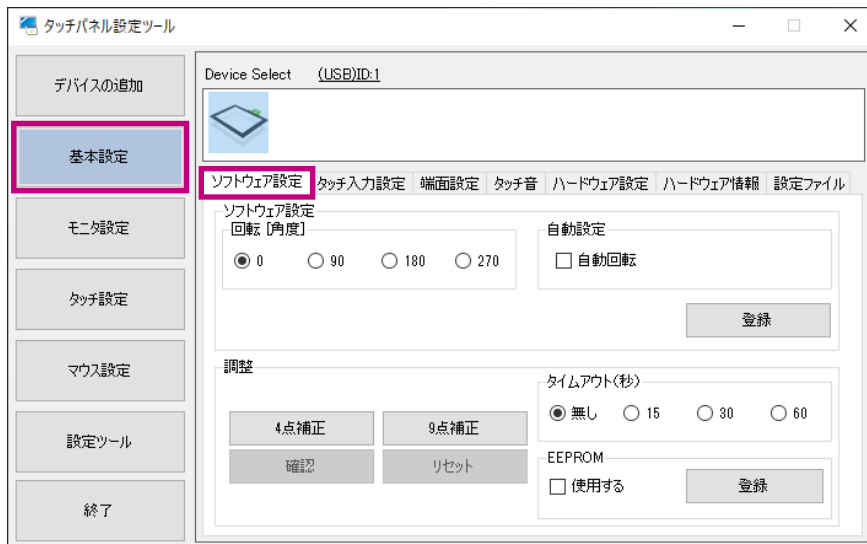
※1 DMT-DDをインストールする前にタッチパネルモニターをUSB接続している場合に表示されます。アイコンを選択して「インストール」をクリックするか、USB接続を一度切断してからもう一度接続するとドライバがインストールされます。

3-2. ソフトウェア設定

モニター表示の回転に合わせたタッチ位置の回転やタッチ位置の補正ができます。
設定するときは、「基本設定」の「ソフトウェア設定」タブを選択します。

注意点

- 以降の手順を実施する前に、「モニタ構成」のセットアップが完了している必要があります（「2-6. タッチ位置の補正」（P.16）参照）。



● ソフトウェア設定

OSの設定でモニターの表示を回転させた場合、タッチ位置が正しく検出されない場合があります。画面の回転に合わせてタッチ位置が正しく検出できるように設定します。設定後、「登録」をクリックすると設定が有効になります。



ソフトウェア設定

回転 [角度]

☒ 0 ☐ 90 ☐ 180 ☐ 270

自動設定

☐ 自動回転

登録

設定は、「[3-10. 設定ファイル](#)」(P.33) の選択によって異なります。

「Mouse.mfd」ファイルを選択した場合

「自動回転」のチェックをオンにした場合、画面の回転に合わせてタッチ位置が自動で回転されます。「自動回転」のチェックをオフにした場合、モニター画面の回転にタッチ位置を対応させるためには「回転 [角度]」で手動設定する必要があります。

注意点

- ・「自動回転」機能を有効にするためには、常駐機能を有効にする必要があります。常駐機能が無効のまま「自動回転」のチェックをオンにして「登録」をクリックすると、メッセージが表示されます。「OK」をクリックすると常駐機能が有効になり、自動回転機能が有効になります（「[常駐設定](#)」(P.38) 参照）。

「Touch.mfd」ファイルを選択した場合

Windowsの機能で座標が回転します。「回転 [角度]」および「自動回転」を設定する必要はありません。特殊な環境などでWindowsによって回転がおこなわれない場合に、自動回転機能を使用してください。

● 調整

タッチ位置を補正できます。アナログ抵抗膜方式のタッチパネルモニターの場合は必ず補正をおこなってください。設定後、「登録」をクリックすると設定が有効になります。

調整

4点補正

9点補正

確認

リセット

タイムアウト(秒)
☒ 無し ☐ 15 ☐ 30 ☐ 60

EEPROM
☐ 使用する

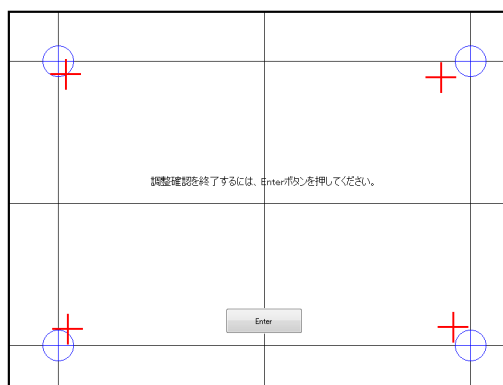
登録

4点補正 / 9点補正

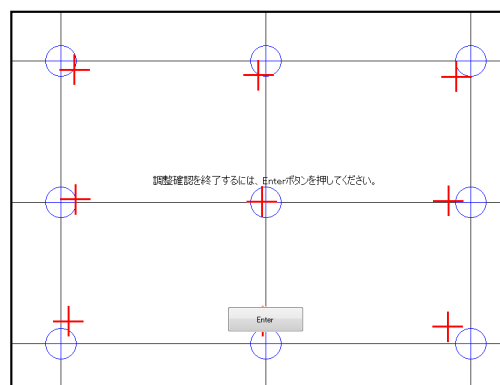
タッチした位置とカーソルの位置を合わせます。詳細は、「2-6. タッチ位置の補正」(P.16)を参照してください。

確認

4点補正 / 9点補正の結果を確認します。理想の位置が青色、タッチした位置が赤色で表示されます。確認を終了する場合は、画面上の「Enter」をクリックするか、キーボードの「Enter」を押します。



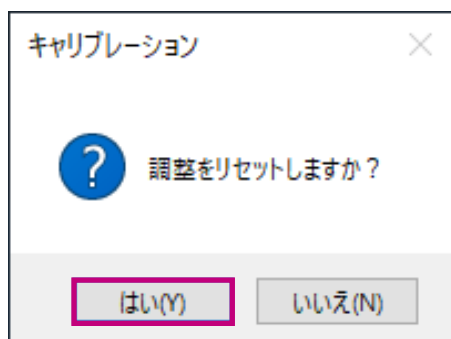
4点補正の結果の例



9点補正の結果の例

リセット

4点補正 / 9点補正の結果を削除します。
確認の画面が表示されるので、補正結果を削除する場合は「はい」をクリックします。

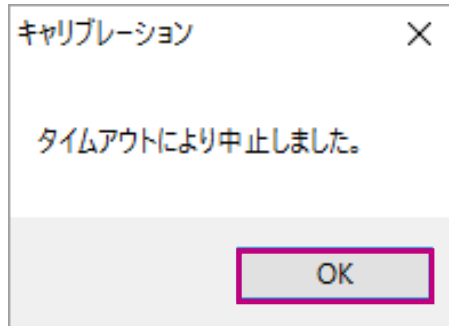


タイムアウト (秒)

初期設定：無し

設定値：「無し」 / 「15」 / 「30」 / 「60」 秒

「無し」以外に設定すると、4点補正または9点補正中に、設定した秒数の間タッチ操作がない場合に補正を中止（タイムアウト)します。タイムアウト後「OK」をクリックするか、設定したタイムアウト時間が経過すると補正前の状態に戻ります。



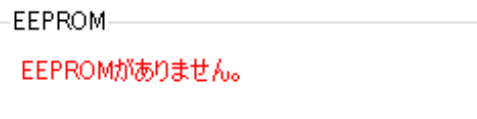
EEPROM

初期設定：チェックオフ（使用しない）

「使用する」のチェックをオンにして登録ボタンをクリックすると、補正データをタッチパネルモニター内のメモリに保存します。

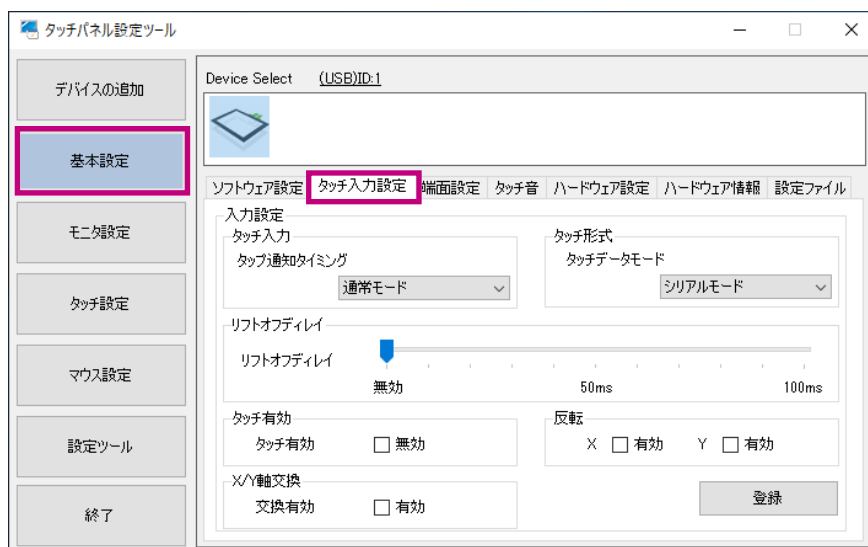
注意点

- お使いのモニターによっては使用できない場合があります。その場合、次のように表示されます。



3-3. タッチ入力設定

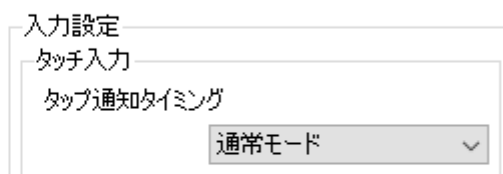
タッチパネルごとに、タッチ時の動作を設定することができます。「基本設定」の「タッチ入力設定」タブを選択し、各項目を設定します。設定は「登録」をクリックすると有効になります。



● タッチ入力

タッチ入力の動作を設定することができます。

タップ通知タイミング



タッチ操作およびタッチを離す操作のシステムへの伝え方は次の通りです。

○：操作した瞬間にシステムに伝えます。

-：操作した瞬間にはシステムに伝えません。

設定	タッチ操作	タッチを離す操作
通常モード（初期設定）	○	○
離れたときクリック	—	○※1
タッチしたときクリック	○※1	—

※1 タッチ操作とタッチを離す操作を同時にシステムに伝えます。

注意点

- ・「離れたときクリック」/「タッチしたときクリック」を選択した場合、次のような動作になります。
 - ドラッグ操作が利用できなくなります。
 - タッチ音の「鳴動タイミング」(P.29) で「タッチダウン中」を選択すると、タッチ音が再生されなくなります。
 - 「3-10. 設定ファイル」(P.33) で「Touch.mfd」ファイルを選択したときに、次のような動作になります。
 - ポインターがカーソル表示に変わります。
 - フリック操作や長押しでの右クリックは無効になります。

● タッチ形式

選択しているタッチパネルドライバのタッチデータモードをお使いのOSに合わせて設定します。

「設定ファイル」 (P.33) でTouch.mfdを選択した場合に設定します。

注意点

- ・ 変更後はコンピュータの再起動が必要です。

タッチデータモード

タッチ形式
タッチデータモード
シリアルモード ▼

設定	説明
シリアルモード	Windows 8.1以前のOSをお使いの場合に選択します。
ハイブリッドモード (初期設定)	Windows 10以降のOSをお使いの場合に選択します。

● リフトオフディレイ

リフトオフディレイ

リフトオフディレイ

無効 50ms 100ms

初期設定：無効

設定値：無効 / 10ms～100ms (10ms単位)

タッチを離れたときから設定した時間経過した後で、タッチを離れたことをシステムに伝えます。システムに伝える時間を遅延させることで、一瞬だけタッチが離れてしまった状態を無視することができます。

● タッチ有効

タッチ有効

タッチ有効 ☐ 無効

初期設定：チェックなし (タッチ有効)

「無効」をチェックすることで、タッチ入力が無効化します。

● 反転

反転

X	<input type="checkbox"/> 有効	Y	<input type="checkbox"/> 有効
---	-----------------------------	---	-----------------------------

X

初期設定：チェックなし

「有効」をチェックすることで、タッチした際のX座標が反転して出力されます。

Y

初期設定：チェックなし

「有効」をチェックすることで、タッチした際のY座標が反転して出力されます。

● X/Y軸交換

X/Y軸交換

交換有効	<input type="checkbox"/> 有効
------	-----------------------------

初期設定：チェックなし

「有効」をチェックすることで、タッチした際のX座標（X）とY座標（Y）が入れ替わって出力されます。

3-4. 端面設定

カーソルが画面の端面に近づく際の、カーソルの移動量を増加または減少することができます。

設定は「登録」をクリックすると有効になります。

例えば、タスクバーを自動的に隠している設定にしている場合、タスクバーを表示させるためにカーソルを移動させるときに効果的です。



● 範囲と移動量

上下左右の画面端面の範囲と移動量を設定します。

範囲 [%]

初期設定：0

設定値：0 %～50 %

移動量 [%]

初期設定：0

設定値：-50 %～50 %

参考

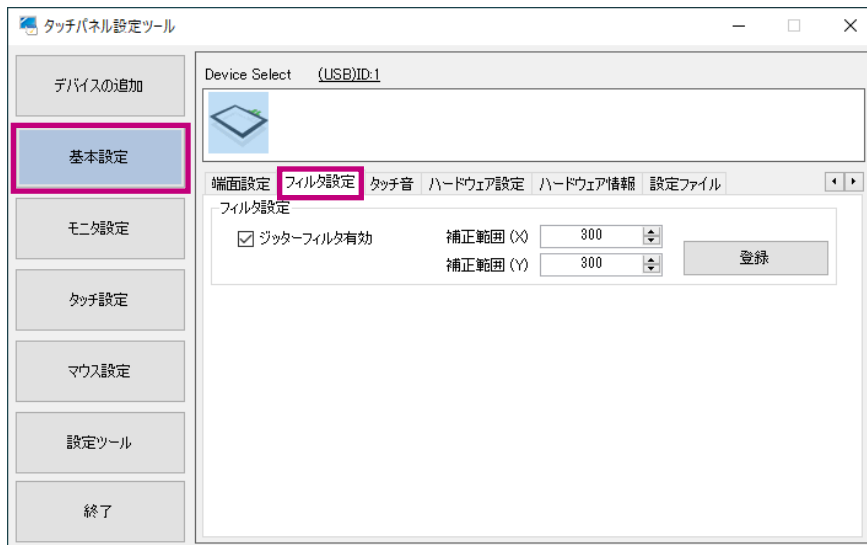
- 「リセット」をクリックするとすべての設定値が初期設定値にリセットされます。

例：画面下辺にタスクバーがあり、自動でタスクバーを隠す設定にしている場合、「下」の項目で「範囲 [%]」=10、「移動量 [%]」=20を目安に設定するとタスクバーを表示しやすくなります。設定値はお使いの環境に合わせて調整してください。

3-5. フィルタ設定

タッチ時の意図しないカーソルのぶれを軽減するジッターフィルタの設定ができます。「基本設定」の「フィルタ設定」タブを選択します。

設定は「登録」をクリックすると有効になります。



「ジッターフィルタ有効」チェックボックス

チェックを入れると、ジッターフィルタが有効になります。初期設定は無効です。

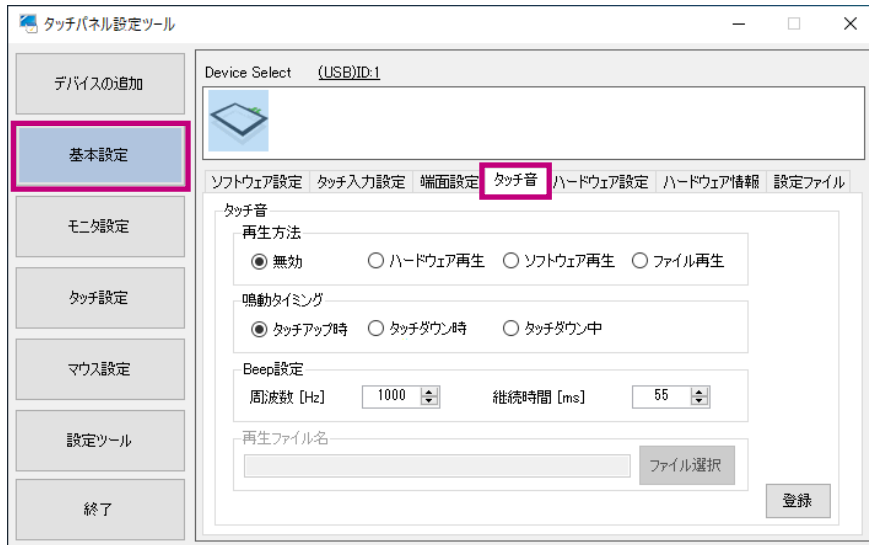
補正範囲 (X) /補正範囲 (Y)

初期設定：300

設定範囲：0 ～ 5000

3-6. タッチ音

ドライバのタッチ音の動作を設定することができます。「基本設定」の「タッチ音」タブを選択します。設定は「登録」をクリックすると有効になります。



● 再生方法

タッチ音を再生する方法を設定します。

再生方法

☒ 無効 ☐ ハードウェア再生 ☐ ソフトウェア再生 ☐ ファイル再生

設定	説明	オプション設定	常駐
無効（初期設定）	タッチ音を鳴らしません。	-	不要
ハードウェア再生	コンピュータのマザーボード内蔵のBeep機能を利用してタッチ音を鳴らします。	「Beep 設定」(P.29)	不要
ソフトウェア再生	Beep音を生成してスピーカーからタッチ音を鳴らします。	「Beep 設定」(P.29)	必要
ファイル再生	音声ファイルをタッチ音として再生します。	「再生ファイル名」(P.29)	必要

注意点

- お使いのコンピュータによってはタッチ音の再生が利用できない場合があります。
- 「ハードウェア再生」の場合、コンピュータのハードウェア構成によってはタッチ音が再生されない場合があります。
- 「ソフトウェア再生」または「ファイル再生」の場合、常駐機能を有効にする必要があります。
- 設定の登録時に常駐機能が無効の場合は、メッセージが表示されます。「OK」をクリックすると常駐機能が有効になり、タッチ音が再生できるようになります（「常駐設定」(P.38) 参照）。

● 鳴動タイミング

タッチ音を鳴らすタイミングを設定します。

鳴動タイミング

☒ タッチアップ時 ☐ タッチダウン時 ☐ タッチダウン中

設定	説明
タッチアップ時(初期設定)	タッチアップ時（タッチを離すとき）に鳴らします。
タッチダウン時	タッチダウン時（タッチするとき）に鳴らします。
タッチダウン中	タッチしている間鳴り続けます。 ^{※1}

※1 「タッチ入力」 (P.23) で、「離れた時クリック」または「タッチした時クリック」を選択するとタッチ音が鳴りません。

● Beep設定

「再生方法」 (P.28) で「ハードウェア再生」または「ソフトウェア再生」を選択したときにスピーカーから再生する音の周波数と継続時間を設定します。

Beep設定

周波数 [Hz] 1000 継続時間 [ms] 55

周波数[Hz]

初期設定：1000Hz

設定値 ：37Hz～32767Hz

タッチ音の周波数を設定できます。

継続時間[ms]

初期設定：55ms

設定値 ：1ms～5000ms

タッチ音の継続時間を設定できます。

● 再生ファイル名

再生ファイル名

C:\Users\%USER%\AppData\Local\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Themes\%THEME%\Windows10\click.wav

ファイル選択

「再生方法」 (P.28) で「ファイル再生」を選択したときに再生する音声ファイルを設定します。

参考

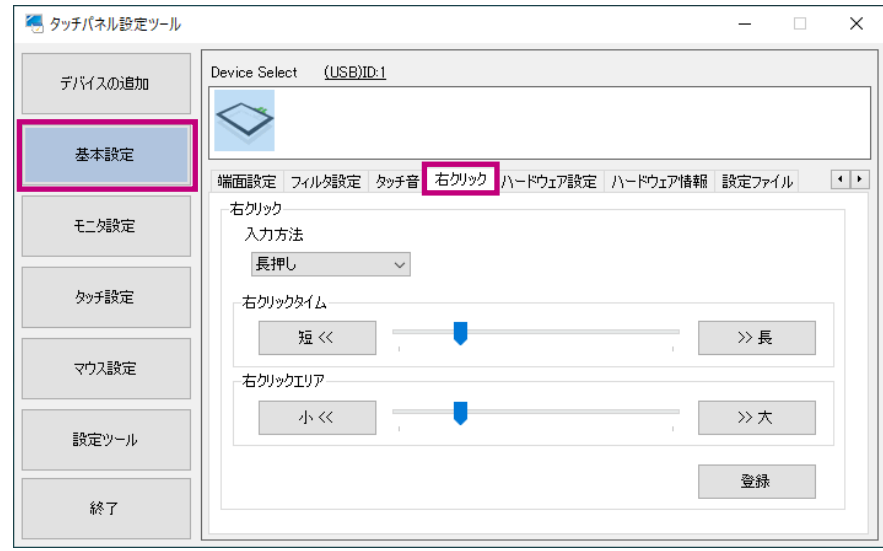
- ・ 選択できる音声ファイルはwavファイル（拡張子：.wav）のみです。

3-7. 右クリック設定

タッチパネルの操作でマウスの右クリックと同様の動作ができるように設定できます。「基本設定」の「右クリック」タブで設定します。設定は「登録」をクリックすると有効になります。

注意点

- 「3-10. 設定ファイル」 (P.33) で「Touch.mfd」ファイルを選択した場合は、「右クリック」の設定タブが表示されません。「Touch.mfd」ファイルを選択した場合の右クリックは、Windows標準の「ペンとタッチ」画面（「ペンとタッチ」 (P.36) 参照）で設定します。



入力方法

次の中から選択します。

設定	説明
無効（初期設定）	右クリックはできません。
長押し	タッチパネルを押し続けると、右クリックと同様の動作になります。
2点タッチ	アナログ抵抗膜方式のタッチパネルモニターでは使用できません。

「長押し」を選択した場合、「右クリックタイム」と「右クリックエリア」を設定します。

右クリックタイム

初期設定：300（ms）

設定範囲：100 ～ 1000（ms）

設定した時間よりも長くタッチし続けると、右クリックと同様の動作になります。

右クリックエリア

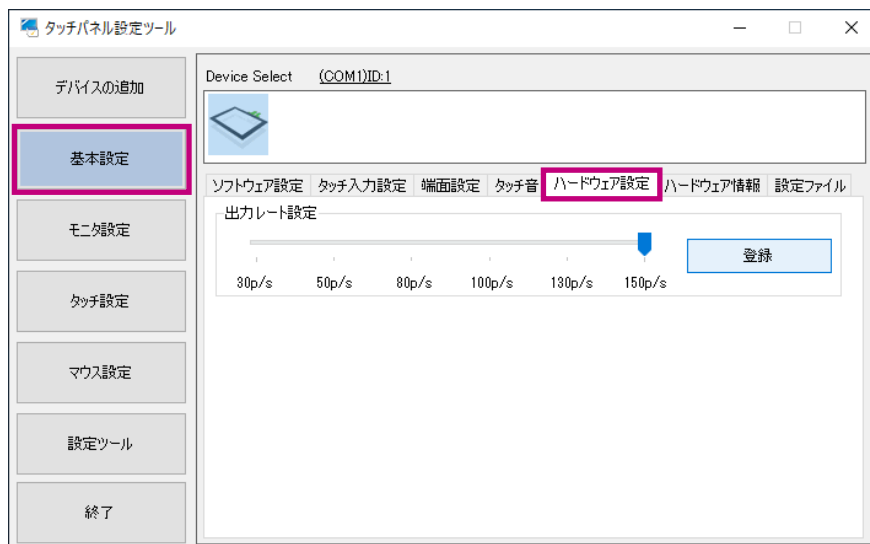
設定した範囲内でタッチしている場所を移動しても右クリックと同様の動作になるように設定できます。

3-8. ハードウェア設定

抵抗膜方式のタッチパネルモニターの場合、出力レートの設定ができます。「基本設定」の「ハードウェア設定」タブを選択します。

設定は「登録」をクリックすると有効になります。

通常は初期設定のまま使用します。負荷が高く、動作が安定しないシステムで出力レートを下げるとタッチパネルの負荷が軽減し、システム負荷が軽減される場合があります。



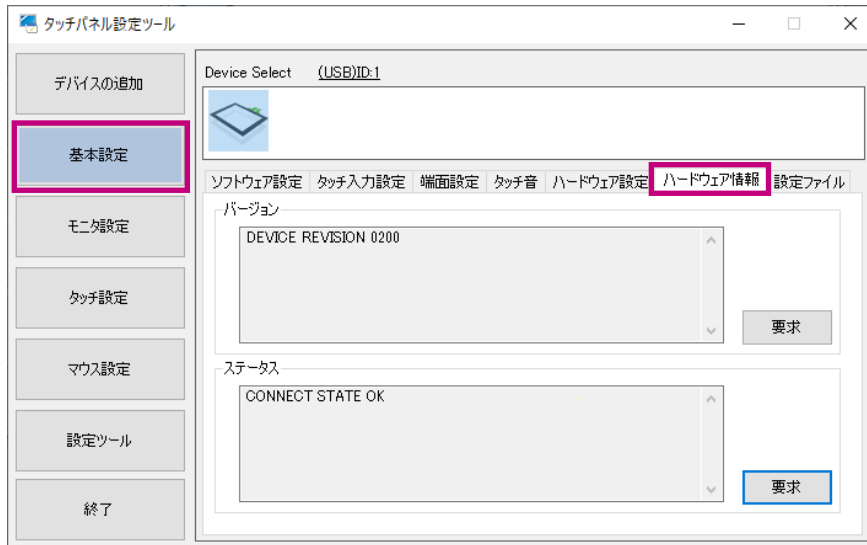
出力レート設定

初期設定：150p/s

設定値：30p/s ～ 150p/s

3-9. ハードウェア情報

タッチパネルドライバのバージョン情報やステータスを確認します。「基本設定」の「ハードウェア情報」タブを選択します。



バージョン

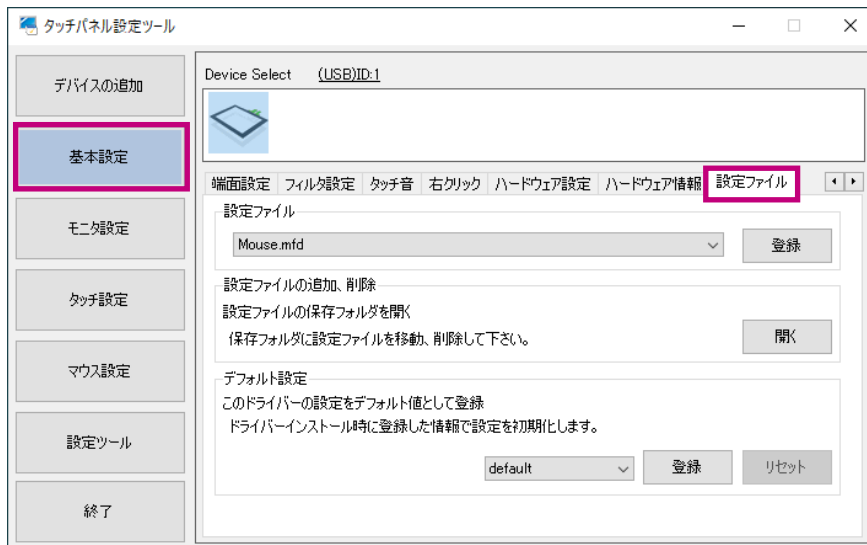
選択したタッチパネルのドライババージョンを確認できます。「要求」をクリックすると、選択されているタッチパネルのドライババージョンが表示されます。

ステータス

選択しているタッチパネルのステータスを確認できます。「要求」をクリックすると、選択されているタッチパネルのステータスが表示されます。

3-10.設定ファイル

使用する用途に合わせて、タッチパネルの動作モードを定義する「設定ファイル」を選択できます。「基本設定」の「設定ファイル」タブで設定します。



● 設定ファイル

初期設定：未登録（「Touch.mfd」が選択されます。）

選択しているタッチパネルドライバまたはタッチパネルコントローラの設定ファイルを変更できます。「設定ファイル」プルダウンメニューから、入力方法に応じたファイルを選択し「登録」をクリックします。アナログ抵抗膜方式のタッチパネルモニターでは「Mouse.mfd」を選択します。

動作モード	ファイル名
タッチデジタイザー	Touch.mfd
マウスエミュレーション	Mouse.mfd

参考

- 初期設定は「設定ファイル」が登録されていません。設定ファイルが未登録の場合は「Touch.mfd」ファイルが選択されます。
- 「Touch.mfd」ファイルを使用する場合は、[「2-6. タッチ位置の補正」 \(P.16\)](#) の設定とタッチデジタイザー専用の設定が必要です。「タッチ設定」の「TabletPC設定」から「開く」をクリックし、Windows標準の設定画面「タブレットPC設定」の「セットアップ」を実行してください。

● 設定ファイルの追加、削除

「開く」をクリックすると、設定ファイルが保存されているフォルダが開きます。通常、使用する必要はありません。

● デフォルト設定

選択しているタッチパネルの設定を、次回以降に新しくタッチパネルを接続するときの初期設定として登録できます。登録した設定は、次回以降に新しくタッチパネルドライバをインストールするときの初期設定となります。

登録したい項目を設定し、「登録」をクリックします。登録できる項目は次のとおりです。

- ・「ソフトウェア設定」 (P.19)
- ・「タッチ入力設定」 (P.23)
- ・「端面設定」 (P.26)
- ・「フィルタ設定」 (P.27)
- ・「タッチ音」 (P.28)
- ・「右クリック設定」 (P.30)
- ・「設定ファイル」 (P.33)

登録した設定を削除する場合は、「リセット」をクリックします。

注意点

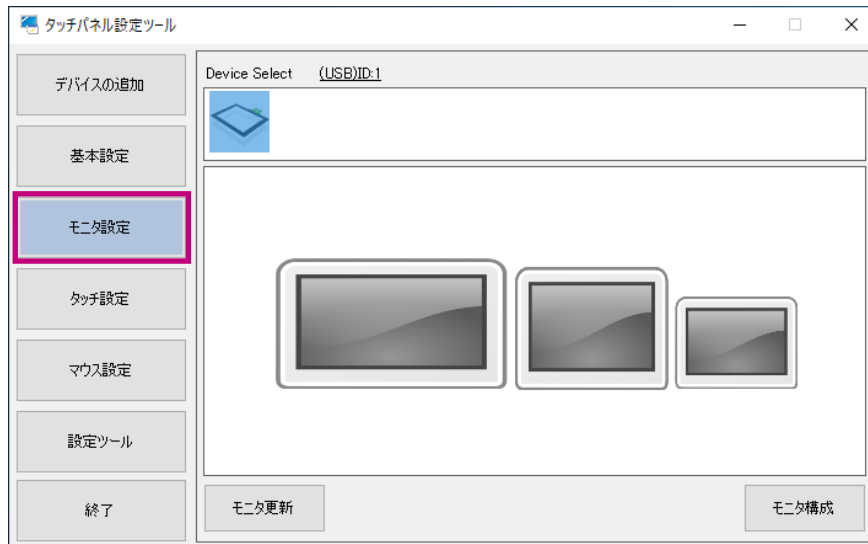
- ・プルダウンメニューの設定は初期設定から変更しないでください。初期設定は次のとおりです。
 - USB接続：「default」
 - Serial接続：「Panel ID:0」
 - ・タッチパネルには個体差があるため、「4点補正」および「9点補正」は複数のタッチパネルで同じ設定にはならない場合があります。タッチパネルごとに補正してください。
-

3-11. モニタ設定

タッチパネルデバイス（USB接続またはCOMポート接続）と、モニター（DVIやD-Subなどの映像信号ケーブル）を関連付けます。

注意点

- モニタ設定を実行する前に、「タッチパネルドライバのインストール」を完了しておく必要があります。（「[2-3. タッチパネルドライバのインストール](#)」（P.9）参照）



モニタ更新

接続しているモニターの配置を更新できます。「モニタ更新」をクリックすると更新されます。

モニタ構成

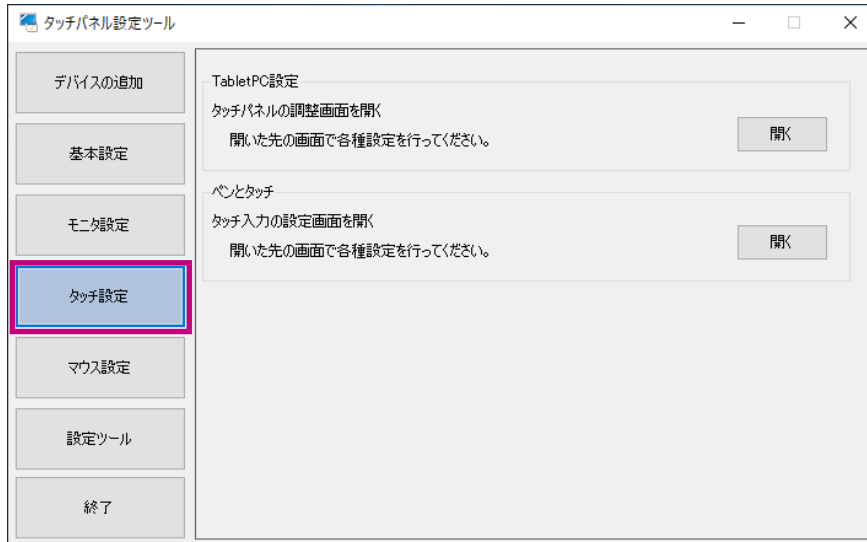
タッチパネルデバイスとモニターを関連付けることができます。設定が完了するとモニターがアクティブになります。

3-12. タッチ設定

注意点

- 「3-10. 設定ファイル」(P.33)で「Mouse.mfd」を選択する場合、「タッチ設定」の操作は不要です。「Touch.mfd」を選択した場合に設定します。

タッチパネルモニターの構成やタッチ位置の補正、タッチ入力の調整設定をおこなうことができます。



TabletPC設定

タッチモニターの構成や、タッチ位置の補正をおこなうことができます。「開く」をクリックすると、Windows標準の設定画面「タブレットPC設定」が表示されます。

注意点

- 「4点補正/9点補正」(P.21)を実行している場合、Windows標準の調整機能は使用しないでください。既に設定済みの場合はリセットが必要です。Windows標準の設定画面「タブレットPC設定」で「リセット」をクリックしてください。

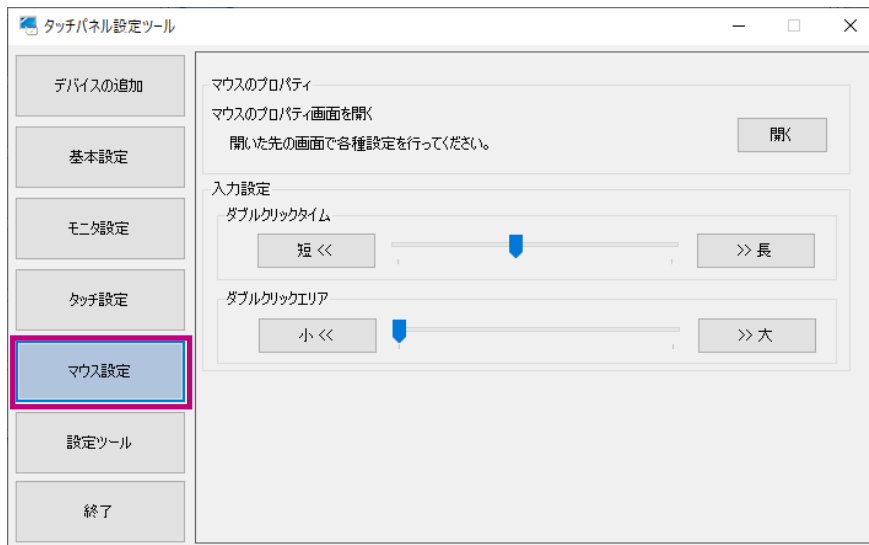
ペンとタッチ

タッチ入力に関するWindowsの各種設定を呼び出します。

タッチ入力の調整設定ができます。「開く」をクリックするとWindows標準の設定画面「ペンとタッチ」が表示されます。

3-13. マウス設定

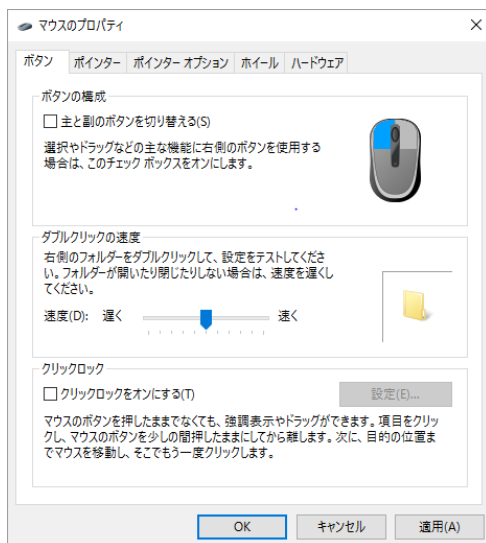
Windows標準のマウス設定画面を表示できます。



マウスのプロパティ

1. 「マウスのプロパティ」 - 「開く」をクリックします。

Windows標準の設定画面「マウスのプロパティ」が表示されます。



入力設定

- ダブルクリックタイム

ダブルクリックとして認識される時間を設定することができます。

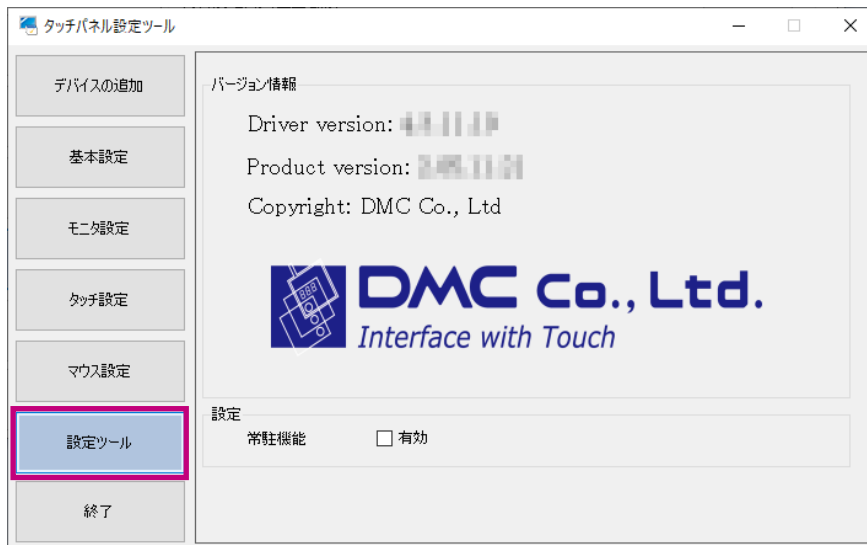
- ダブルクリックエリア

ダブルクリックとして認識される範囲を設定することができます。

3-14.設定ツール

各種の情報を表示します。

ドライバおよび設定ツールのバージョン情報が確認できます。



● 常駐設定

機能によっては、DMT-DDをコンピュータに常駐させる必要があります。

必要に応じて常駐機能を有効にしてください。

- 常駐選択チェックボックス

選択チェックボックス	常駐機能
チェックあり	有効 ^{※1}
チェックなし（初期設定）	無効 ^{※2}

※1 コンピュータの起動時に常駐機能が自動的に実行されます。

※2 通常のタッチ操作はおこなえます。

常駐機能について

常駐機能が有効な場合、次の機能が有効となります。

- タッチ音再生機能

「タッチ音入力」タブの「タッチ音」-「再生方法」で「ソフトウェア再生」または「ファイル再生」を選択した場合、設定に従ってタッチ音を再生します。（「3-6. タッチ音」（P.28）参照）

- 自動回転機能

「3-10. 設定ファイル」（P.33）で「Mouse.mfd」ファイルを選択する場合に機能します。（「3-2. ソフトウェア設定」（P.19）参照）

第4章 こんなときは

症状	原因と対処方法
1. タッチパネルドライバをインストールできない	<ul style="list-style-type: none"> 別のCOMポートまたはUSBポートに接続してインストールをお試しください。 モニターのセットアップマニュアルまたは取扱説明書に記載のケーブルでモニターとコンピュータを接続してください。変換アダプタなどを利用すると、タッチパネルが正しく動作しない場合があります。 COMポート接続の場合、「デバイスの追加」の「COMポート検索無効」のチェックがオンの場合、タッチパネルドライバのインストールはできません。次の手順で設定してください（「3-1. タッチパネルデバイス一覧」(P.18) 参照）。 <ol style="list-style-type: none"> 「COMポート検索無効」のチェックをオフにします。 「リスト更新」をクリックします。 インストールするポートを選択して「インストール」をクリックします。
2. マウスカーソルが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 「基本設定」の「設定ファイル」で「Mouse.mfd」を選択して「登録」をクリックしてください（「3-10. 設定ファイル」(P.33) 参照）。 タッチパネルドライバを一度アンインストールし、もう一度インストールし直してみてください（「5-1. タッチパネルドライバのアンインストール」(P.41)、「2-3. タッチパネルドライバのインストール」(P.9) 参照）。
3. カーソル位置がずれる / カーソルが飛ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 「基本設定」の「ソフトウェア設定」タブを表示し、「調整」の「4点補正」または「9点補正」で位置の補正を試みてください（「2-6. タッチ位置の補正」(P.16) 参照）。 「基本設定」の「端面設定」タブを表示し、範囲と移動量を調整してみてください（「3-4. 端面設定」(P.26) 参照）。 「タッチ設定」の「TabletPC設定」でタッチパネルの調整画面を開き、「調整」をリセットしてみてください（「3-12. タッチ設定」(P.36) 参照）。 モニターの電源を入れなおしてみてください。
4. タッチ操作が効かない	<ul style="list-style-type: none"> 通信ケーブル（USBまたはRS-232C）が正しく接続されているかを確認してください。 タッチパネルドライバがインストールされていることを確認してください（「2-3. タッチパネルドライバのインストール」(P.9) 参照）。 他のログインユーザーが設定を変更した可能性があります。設定をやり直してください。 「基本設定」の「タッチ入力設定」タブを表示し、「タッチ有効」の「無効」のチェックをオフにしてください（「タッチ有効」(P.24) 参照）。 タッチパネルドライバの設定ツールを再起動するか、コンピュータを再起動してください。
5. 右クリック操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 「基本設定」の「右クリック」の「入力方法」で「長押し」を選択して「登録」をクリックしてください（「3-7. 右クリック設定」(P.30) 参照）。 「右クリック」タブが表示されない場合、「タッチ設定」の「ペンとタッチ」の「開く」をクリックしてWindows標準の「ペンとタッチ」画面を表示して右クリックを設定してください（「3-12. タッチ設定」(P.36) 参照）。
6. タッチ音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> 「基本設定」の「タッチ音」を設定してみてください（「3-6. タッチ音」(P.28) 参照）。 「基本設定」の「タッチ音」の「鳴動タイミング」で「タッチダウン中」を選択した場合、「基本設定」の「タッチ入力」で「通常モード」を選択してください（「タッチ入力」(P.23) 参照）。 「基本設定」の「タッチ音」の「再生方法」で「ソフトウェア再生」または「ファイル再生」を選択している場合、次の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> スピーカーを接続してください。 スピーカーの音量を上げてみてください。 「設定ツール」の「常駐設定」の「有効」のチェックをオンにしてください（「常駐設定」(P.38) 参照）。 「ファイル再生」を選択している場合、選択したwavファイルが正しいか確認してください。 コンピュータのハードウェア構成によっては、タッチ音を出力しない場合があります。

症状	原因と対処方法
7. 画面を回転するとタッチ位置がずれる	<ul style="list-style-type: none"> ・「基本設定」の「ソフトウェア設定」の「自動回転」のチェックをオンにするか、「回転 [角度]」を画面の回転に合わせて設定してください（「ソフトウェア設定」(P.20) 参照）。 ・「設定ツール」の「常駐設定」の「有効」のチェックをオンにしてください（「常駐設定」(P.38) 参照）。
8. ドラッグ操作が途中で途切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・一瞬だけタッチが離れたと判断されている可能性があります。「リフトオフディレイ」(P.24) の設定を「無効」以外に設定してみてください。
9. (マルチモニター環境) タッチすると別のモニターにカーソルが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・「2-4. タッチパネルの設定」(P.13) を参照してモニターとタッチパネルを関連付けてみてください。 ・「2-5. 設定ファイルの登録」(P.15) で「Touch.mfd」を選択した場合、「タブレット PC 設定」でモニターとタッチパネルを関連付ける必要があります（「3-12. タッチ設定」(P.36) 参照）。
10. (マルチモニター環境) 「複数のモニタを検出」というメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチパネルの設定が完了していません。「2-4. タッチパネルの設定」(P.13) を参照してモニターとタッチパネルを関連付けてください。
11. DMT-DDをアンインストールできない	<ul style="list-style-type: none"> ・「設定ツール」の「常駐設定」の有効のチェックをオフにしてください（「常駐設定」(P.38) 参照）。

第5章 参考情報

5-1. タッチパネルドライバのアンインストール

● USB接続の場合

DMT-DDをアンインストールすると、タッチパネルドライバは自動的にアンインストールされます。

● COMポート接続の場合

1. DMT-DDを起動します。

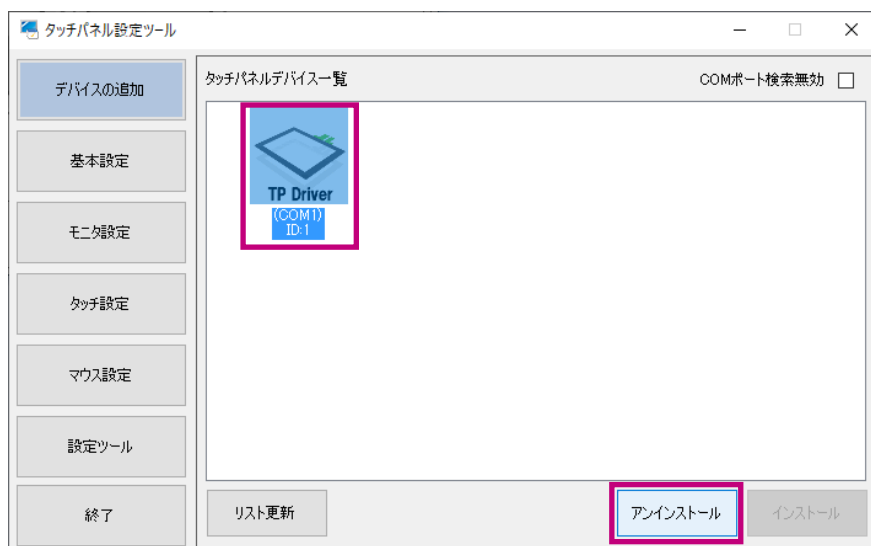
「タッチパネル設定ツール」画面が表示されます。

2. アンインストールするタッチパネルを選択します。

「タッチパネルデバイス一覧」から、アンインストールするタッチパネルのアイコンを選択します。

参考

- タッチパネルドライバをアンインストールするモニターの画面をタッチすると、タッチしたモニターと接続しているアイコンが選択されます。

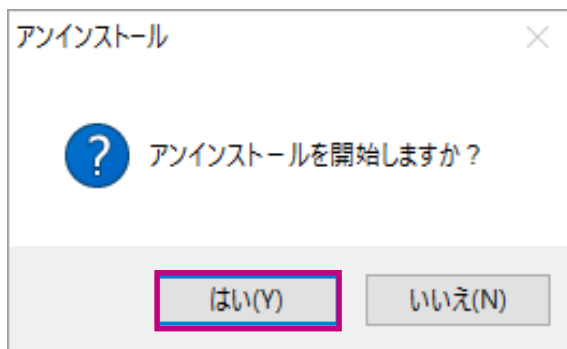


3. 「アンインストール」をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 「はい」をクリックします。

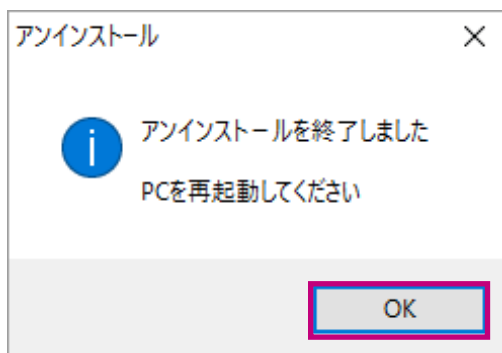
アンインストールが開始されます。



アンインストールが完了するとメッセージが表示されます。

5. 「OK」をクリックします。

アンインストールが完了します。



6. コンピュータを再起動します。

5-2. DMT-DDのアンインストール

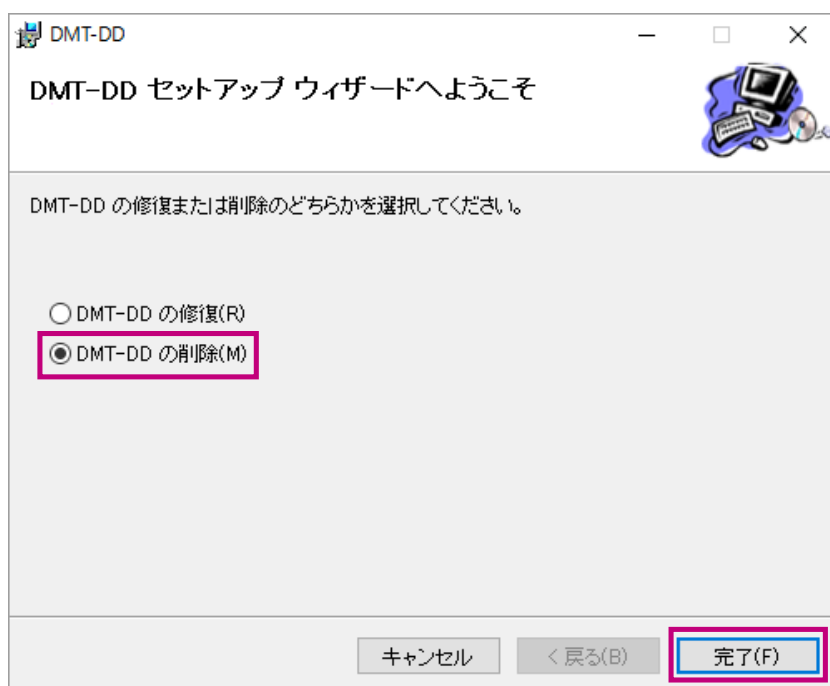
注意点

- DMT-DDをアンインストールすると、インストールされているすべてのタッチパネルドライバが自動的にアンインストールされます。
- 常駐機能が有効の場合、アンインストールが失敗する場合があります。DMT-DDをアンインストールするときは、常駐機能を無効に設定してください。（「常駐設定」(P.38) 参照）

1. 「DMT-DDSetup_ms.msi」をダブルクリックします。

インストーラが起動します。「DMT-DDセットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。

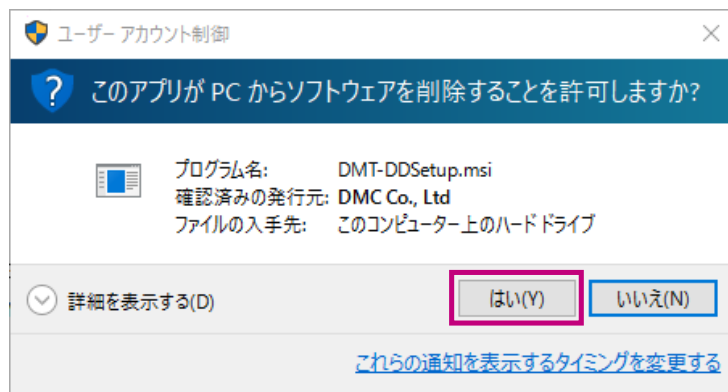
2. 「DMT-DDの削除」を選択し、「完了」をクリックします。



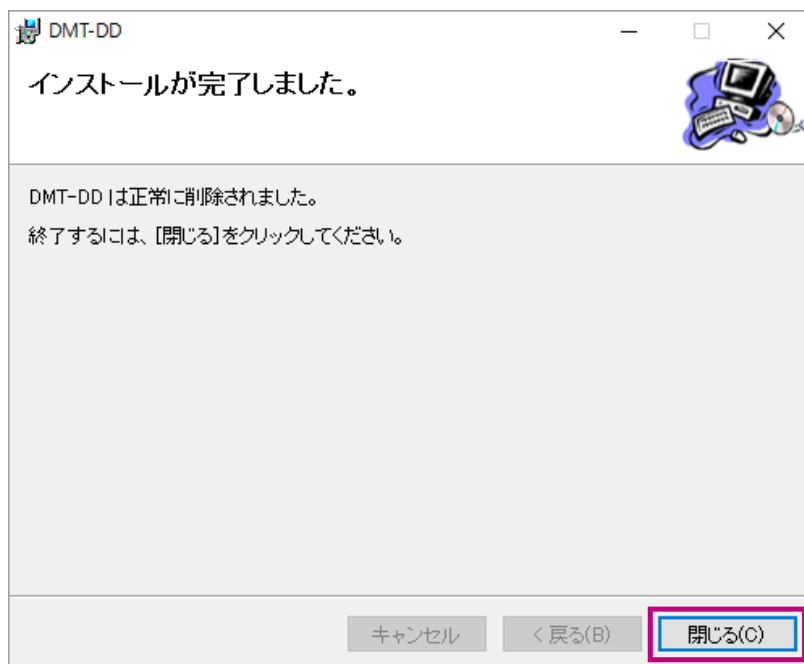
アンインストールが開始されます。完了すると完了画面が表示されます。

参考

- ユーザーアカウント制御の設定によって、次のような画面が表示される場合があります。削除する場合は「はい」をクリックしてください。



3. 「閉じる」をクリックします。



アンインストールが完了します。

